

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 神戸大学附属中等教育学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒658-0063
兵庫県神戸市東灘区住吉山手 5-11-1

E-mail : _____

Website : http://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-s-fuchutop/

児童生徒数：男子 382 名 女子 396 名 合計 778 名
 児童・生徒の年齢 12歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校は、「グローバルキャリア人（＝国際的視野を持ち未来を切り拓く人材）の育成」を教育目標に掲げ中高一貫教育を推進している。ユネスコスクールはESD推進の推進拠点校と位置付けられているが、本校では神戸大学との一体運営による統一的プログラム「グローバルキャリア人育成モデル」の開発に向け、「総合的な学習の時間」における課題研究をESDの観点から構成しているほか、国際交流や国際問題に関する活動を積極的に推進している。ユネスコスクールには平成26年9月に認定され、同年11月に決定通知をいただいた。

平成26年度のユネスコスクールに関連する実践を以下に記載する。

海外研修プログラム等の実施

(1) 文部科学省留学促進事業（短期派遣）

①オーストラリア ブリスベン（4年生1名、5年生1名）

②アメリカ シアトル（4年生2名）

※シアトル神戸事務所の協力により International Community School と交流。

(2) 語学研修

①カナダ（4年生約30名）

②イギリス研修旅行（5年生全員）

※学校交流プログラムで、ユネスコスクールの Cirencester Deer Park School を訪問。

③オックスブリッジ英語サマーキャンプ（国内 3～5年生20名）

※兵庫県国際交流協会主催、オックスフォード、ケンブリッジ両大学生講師による語学研修プログラムを本校で実施（1泊2日の宿泊研修を含む）

教育行財政課題解決促進型研修に係る途上国政府教育行政官等視察受入れ

6月（JICA研修員：写真1）、11月（JICA研修員）、12月（神戸大学国際協力研究科セミナー講師：写真2）4年生、5年生の英語の授業で交流（計3回）

※神戸大学国際協力研究科と連携。環境、教育、人権について討議。



写真1：JICA研修員との交流



写真2：神戸大学セミナー講師との交流

国際問題等についてのセミナーの開催

(1) グローバルリーダーセミナー

第1回 (4月)	「英国紹介～イギリスと日本・デンマークの生活～」※使用言語：英語 英国ニューキャッスル大学医学部4回生 トムセン・アンナ氏
第2回 (6月)	「国際協力～NGO・Linkのタイでの活動から～」※使用言語：英語 特定非営利活動法人Link・森と水と人をつなぐ会 久留島 啓 氏
第3回 (7月)	「発展途上国における紛争後の教育政策について」※使用言語：英語 米国ジョージワシントン大学准教授 ジェイムズ・ウィリアム 氏
第4回 (10月)	「将来世界へ羽ばたく皆さんへ」 世界銀行 荘所 真理 氏
第5回 (12月)	「大学での数学」 神戸大学発達科学部教授 高橋 譲嗣 氏 (理系生徒対象)
第6回 (1月)	「競技ディベート入門」 神戸大学法学研究科教授 角松 生史 氏 (全5年生対象)

(2) 神戸大学主催 「世界に挑む産業界・官界・政界トップリーダーによる連続リレー講座」

※10月14日(土)～1月10日(土) 隔週土曜日全8回

於：神戸大学鶴甲第1キャンパス

第1回	「リレー講義の意味」、シンポジウム「グローバル化とは何か」
第2回	「エネルギー政策が大事な理由」、「成長するためのインフラとは」
第3回	「震災復興の現状と課題」、「『次の、日本。』政治の責任と政策」
第4回	「産業の近現代史」、「日本の安全保障と防衛政策」
第5回	「現代の金融システム」、「モノづくりを支える技術：工作機械とは」
第6回	「日本の農林水産業」、「都市開発の海外輸出」
第7回	「アジアの成長と日本」、シンポジウム「日本経済を考える」
第8回	「総括」

社会問題・国際的課題についての大会・交流会等への参加

(1) 名古屋大学教育学部附属中・高等学校主催

SGH アソシエイト校「Global Communication Program」(8月)

於：名古屋大学教育学部附属中・高等学校

テーマ；「環境に関わる最も大きな課題とは」(4、5年生5名) ※使用言語：英語

〔本校以外の参加校〕東京学芸大学附属高等学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校(ユネスコスクール)、名古屋大学教育学部附属中・高等学校(ユネスコスクール)、名古屋大学教育学部附属中・高等学校(ユネスコスクール)、海陽中等教育学校

(2) 神戸大学社会科学系教育研究府・法学部主催 「模擬安保理大会2014」

(8月)(写真3)

於：神戸大学法学部

議題：イラク情勢、南スーダン情勢、南シナ海情勢 (4、5年生12名)

※使用言語：日本語・英語

※ナイジェリア大使「法学部長賞」受賞

(3) 大阪星光学院高等学校主催

「第3回、第4回 関西の高校生による対話を通じた交流会」

(9月)、(2月) 於：大阪星光学院高等学校

テーマ：社会的な話題（外交）身近な話題（現代文化）等（5年生5名）

※使用言語：日本語

- (4) 「第8回全日本高校模擬国連大会」（11月）於：国連大学本部
議場：FAQ 世界食糧サミット2014 議題：食料安全保障（5年生4名）

※使用言語：日本語・英語（写真4）

- (5) 兵庫県教育委員会・大阪大学主催 JICA 関西後援

「第2回高校生国際問題を考える日」

於：大阪大学

（4、5年生6名）

※ポスター発表：「他民族国家に学ぶ日本のグローバル化の在り方」、「難民の未来」、「日本に何ができるか～中東地域の対立と難民～」、「フィリピンの教育政策と課題」、「世界で最も寿命が短い国シエラレオネ」

- (6) International Youth Summit 2015（3月）（1年生3名）

於：兵庫県立舞子高等学校、海外移住と文化の交流センター、ニチイ学館ポートアイランドセンター

※台湾、韓国、エジプト、ギリシャ、アメリカ、カナダと日本国内の中学生・高校生が防災に関する国際会議等を行う。（1年生3名）



写真3：模擬安保理大会



写真4：全日本高校模擬国連大会

「IIME アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」への参加

3年生全員がESDの一環としてジャパンアートマイル主催の「IIME アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」に参加。タンザニア（1組）、台湾（2組）、メキシコ（3組）とそれぞれ「エネルギー」、「環境」、「世界遺産」をテーマにインターネットを通じた協働学習を通じて壁画を制作した。（写真5、6）



写真5：タンザニアとのテレビ会議



写真6：完成壁画（メキシコ）

留学生との交流

- (1) 神戸龍谷高等学校留学生との交流
4年生対象。
- (2) 神戸大学留学生との交流
3、4年生 Kobe プロジェクト課題学習「開発教育と国際協力」講座受講生対象。
※文化紹介、環境や人権についての討議を行った。
- (3) 長期留学生の受入れ
平成26年度は、オーストラリア人男子高校生2名、フランス人女子高校生1名を受け入れた。

教員によるユネスコスクールに関する会議への参加等

- (1) 「ESD 実践モデル全国会議」(8月20日) 於：国連大学
- (2) 「ユネスコスクール世界大会教員フォーラム」(11月7日)
於：ホテルグランヴィア岡山 ※コミュニケーションサポーターとして
- (3) 「ユネスコスクール世界会議」「ユネスコスクール全国大会」(11月8日)
於：岡山大岳 ※ESD 実践事例ポスター発表
- (2) 『2014年ユネスコスクール世界大会記念 ユネスコスクール ESD 優良実践事例集』への本校取組の掲載

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(生徒会活動)